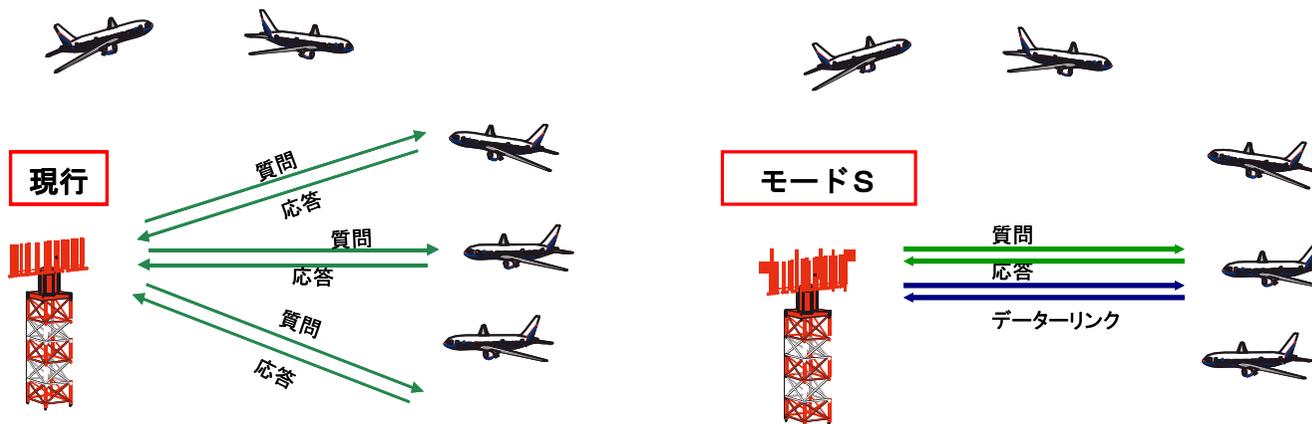


## 航空保安用レーダー（SSR：二次監視レーダー）モードS化の概要

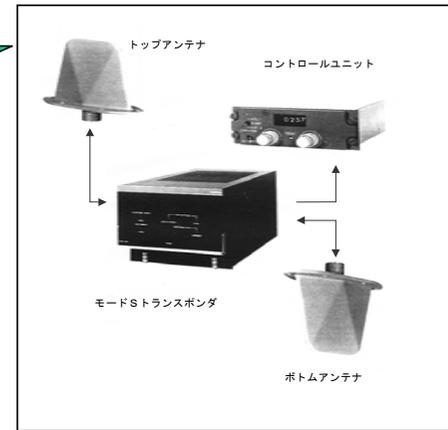
現行の航空保安用レーダーはすべての航空機に共通の質問信号（航空機識別、飛行高度）を使用しているため、航空機はこの質問信号に対し常に一斉に応答することから、航空交通量の増大に伴って、過大な応答信号による処理容量の限界や建物等の反射による架空の標的（ゴースト）の発生数も増加する。

一方、モードSでは航空機固有のアドレスを利用して航空機毎に質問することが可能であるため、複数の航空機が存在していても必要な時に必要な応答信号だけを選定して取得することが可能となり、現行型に比べ処理容量が大幅に向上するとともに架空の標的の発生を抑止することができる。さらにデータリンク機能も有している。

<図表>



地上レーダー質問信号

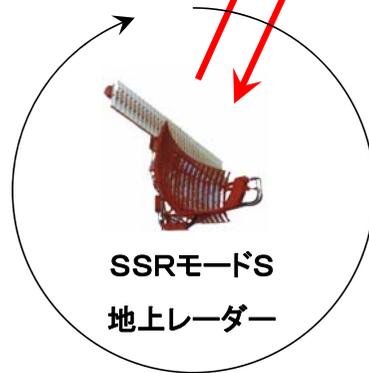


自動応答装置

正常なレーダー応答信号

異常なレーダー応答信号

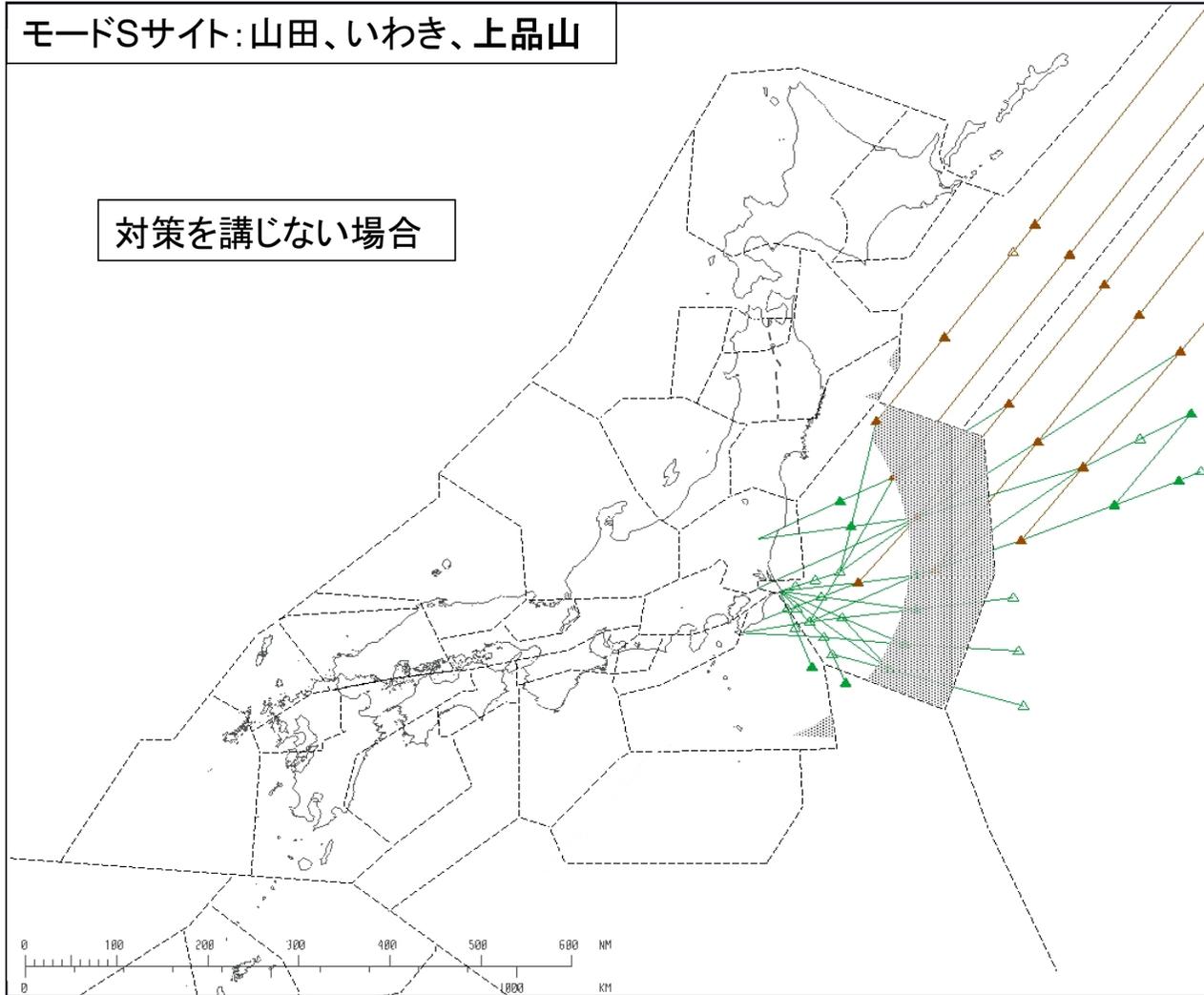
このような場合は、正常な値まで幅を広げる



この応答信号が国際標準規格に正確に適合するよう、自動応答装置の精密点検を実施する

モードSサイト:山田、いわき、上品山

対策を講じない場合



モードSサイト:山田、上品山

現行モード:いわき

対策を講じた場合

